



# 光と色、色の見え方について



## 見える色は、それぞれ違う？

人は一人ずつ違います。いろんな違いがある中で、私たちは「色覚」の違いを取り上げています。現在の社会環境は色に溢れています。現代社会では、色による分別は日常的な生活に組み込まれています。しかし、多くの人にとって目立つ色が、決してみんなにとって目立つ色ではないのです。色の見え方が、ある時は命と関わることも少なくありません。「それぞれの色の見え方は違う」ということを認識すること、見え方の違いを理解し合い認め合うこと。人はそれぞれ違っているのは当たり前で、お互い影響し合うことにより、誰もが生きやすい社会を創ること…、それが、私たちNPO法人(特定非営利活動法人)True Colorsの目指す社会です。

## 自分の色覚を早く知ることは大切なことだと思います

色覚検査が廃止され、自分の色覚を知る機会がなくなりました。自分と人の色の見え方の差に違和感を抱え、それが何かに気づかないまま生活している人は多くいます。就職なども現在は色覚問題で採用制限することは少なくなっていますが、現実にはさまざまな分野の仕事で困ったり、不利になる場合も多いのです。

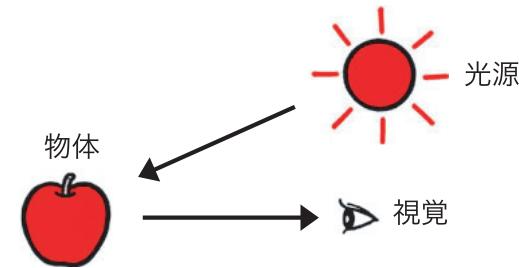
## True Colors の意味は

True Colors(トゥルーカラーズ)は、直訳すれば「本当の色」となりますが、人それぞれの色の見え方が違う中で、一つの真実の色を追求していくのではなく、多くの人が理解できる「当てはまる色」という意味で名づけました。どうぞ私たちの活動をご理解いただきて、同じ目線になっていただけの方が一人でも増えてくださることを願っています。



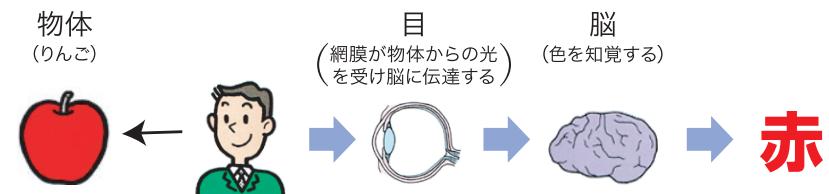
## リンゴはなぜ赤いのか？

色覚について知りたい方は、まず色について知ってみましょう。リンゴの色を見るためには光がなければ色はありません。私たちが色を感じるには「光源」「物体」「視覚」の3要素が必要です。



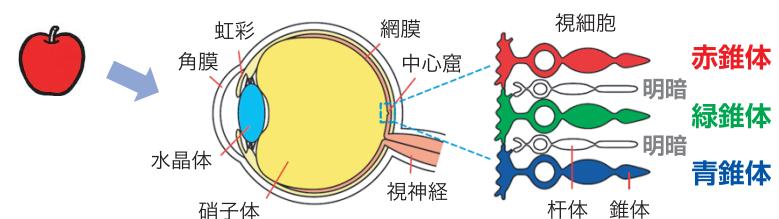
### 色を知覚する

目の網膜が物体からの光を受け、脳に伝達します。そして、脳がその色を知覚します。



網膜にある視細胞は、目に映る可視光線を受けます。まず信号が視神経を経由して大脳の視覚連合野というところに入ります。ここで3種の錐体からの情報内容を分析して色を知覚しています。

視細胞は目に映る可視光線を受け、信号が視神経を経由して大脳の視覚連合野に入り、ここで3種の錐体(※)からの情報の相対比や位置を分析して色を知覚します。



※赤錐体は長波長の、緑錐体は中波長の、青錐体は短波長の可視光線に反応します。